

令和2年度第4回滋賀県総合教育会議

令和2年(2020年)11月13日
第4回滋賀県総合教育会議
資 料 5

「子どもたちの読書活動の推進について」

いのち輝く未来に向かって

～つなごう 子どもと本・のぼそう けやきっ子～



令和2年11月13日
長浜市立長浜図書館 下司満里子

けやきっ子とは・・・



市の木「けやき」になぞらえ、読書を通じてどっしりと大地に根を張って知恵や知識を吸収し、太く堅い幹のようにしっかりと生きる力を身につけ、想像の枝をのびのびと広げて豊かに生きる長浜の子どもたちのこと

長浜市子ども読書活動 推進計画(第3次)

平成31年3月策定

第1次計画・・・平成20年3月策定

第2次計画・・・平成26年3月策定

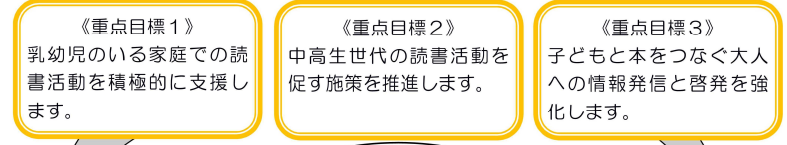
成果と課題をうけ、
第3次策定へ

「長浜市子ども読書活動推進計画」(第3次) 概要版

基本目標 いのち輝く未来に向かって
～つなごう 子どもと本・のぼさう けやきっ子～
期 間 平成31年度からのおおむね5年間

【基本方針1】 子どもが読書に親しむ機会の提 供と環境の整備・充実	【基本方針2】 家庭・地域・学校を通じた社会 全体での取組の推進	【基本方針3】 子ども読書活動に関する理解と 関心の普及
---	--	------------------------------------

これまでの成果	学校司書全校配置など、小中学校の読書環境向上。 官民連携による協働事業の増加。 横断的な啓発による「けやきっ子読書の日」の認知度向上
今後の課題	主に未就園児のいる家庭への読み聞かせの重要性の啓発不足。 世代毎の事業バランスの偏りによる中高生世代へのアプローチ不足。 啓発による認知度向上も、「本を読む」という行動につながっていない。



5年後に目指す姿(指標)	
◆乳幼児(0歳から就学前)の家庭で読み聞かせをする日が週1日未満の割合	12.5%(H30年9月調査) → 10%
◆1か月間の読書冊数が1冊以下の割合(小学4から6年生)	9.1%(H30年5月調査) → 7.5%
◆1か月間の読書冊数が1冊以下の割合(中学1から3年生)	21.8%(H30年5月調査) → 15%
◆市立図書館における13~18歳の利用者への貸出冊数	37,117冊(H30年3月末) → 50,000冊

高校生

YAコーナーやエリアの設置
POP・本の帯コンクール
湖北10高校のおすすめ本展示

小中学生

学級巡回文庫「おはなしのたからばこ」
単元学習の団体貸出
学校・図書館連絡会の開催

未就学児

保育園・こども園・幼稚園への団体貸出
家庭への読書支援
図書館員・ボランティアによるおはなし会

乳幼児

ブックスタート
はぐはぐおはなし会
赤ちゃんタイム





◎ 今後の課題

コロナ禍の児童サービスとは・・・

- ・非接触型の児童サービスとは・・・
- ・これまでのサービスの見直しの必要性

ニーズの多様化・複雑化

カウンターから見えてくること

- ・学校支援から連携への変換の難しさ
- ・特別な配慮が必要な子どもへの読書サービス
- ・中央図書館機能の複合化によって、福祉やまちづくりを視野に入れたサービスが求められる



ブレないで図書館が大事にしたいものは？